

## 運輸部

平成16年度船員労働  
安全衛生月間の実施

陸上労働者に比べて発生率の高い船員の災害（陸上の約5倍）や、疾病（特に近年割合が高くなっている生活習慣病）の防止について、船舶事業者及び船員の意識を高めようと、9月を船員労働安全衛生月間とし、各種の行事を展開しました。

まず、9月1日に沖縄県水産会館において船員、船舶所有者、行政機関等多数の参加のもと船員災害防止大会が開かれ、心を新たにして、船員の災害の絶無と健康の維持を目指した日々の活動を推進していくこととする大会宣言がなされました。

この後、「海難審判制度について・裁決からみた船員の死傷事例とその対応策」の演題で門司地方海難審判理事所那覇支所及び門司地方海難審判庁那覇支部の職員による特別講演が行われました。

このほか、会場には、作業用救命衣、安全靴、救命浮環等、船員の保護具の展示場も開設され、年々機能が増している保護具に参加者らの関心が集まりました。

また、月間中は、訪船指導員が、県内各港に停泊中の船舶を訪れ、海中転落事故を防ぐための舷梯（岸壁と船舶を結ぶ梯子）の設置状況、飲用水の水質等、数十の項目についての点検指導を行いました。

## 開発建設部

## 平成16年度全国道路標識週間の実施

道路標識の充実と利用者の利便向上を図ることを目的に、平成16年10月1日～7日まで各道路管理者、公安委員会の協力のもと全国道路標識週間を実施しました。

今年の活動は、ポスター掲示、ラジオ放送、道路情報板、電光掲示板等による広報、活動でリーフレット配布、沖縄県庁1階ロビーと道の駅「許田」においてパネル展示を行いました。

わかりやすい道路案内標識を実現するため、国土交通省では本年6月に有識者からなる検討会を設け、このほど提言素案がまとめられ、道路利用者の皆様から幅広く意見を募集しました。

また、県内においても道路利用者の視点に立った案内標識の整備を目指して調整検討を行っています。

なお、「わかりやすい道路案内標識に関する検討会」の詳細は、<http://www.mlit.go.jp/road/sign/kentoukai/index.html>にて掲載しています。

また、県内では道路標識・表示に関する一般の方からの意見を求めるための標識BOX（意見箱）を県内52箇所に設置しています。さらに、インターネットホームページにもコーナーを開設しています。アドレスは下記のとおりです。

<http://www.road.dc.ogb.go.jp/index.html>



## 経済産業部

## 3R推進月間における実施事業について

10月は3R(スリーアール)推進月間

Reduce(リデュース)物を大切に使う。ごみを減らそう。  
Reuse(リユース)繰り返し使おう。  
Recycle(リサイクル)再び資源として利用しよう。



リサイクル関係8府省<sup>注1</sup>では、循環型社会の形成に向けて3R推進に対する理解と協力を求めるため、毎年10月を「リデュース・リユース・リサイクル推進月間（略称／3R推進月間）」と定め、広く国民に向けて、普及啓発活動を実施しています。

経済産業部は、3R推進月間の行事の1つとして、10月22日に第10回環境ビジネスフォーラムを開催しました。環境ビジネスフォーラムでは、3Rへの理解を深めることを目的にエコタウン事業を所管している経済産業省環境調和産業推進室 鈴木謙次郎課長補佐及びエコタウン事業の先進地である水俣市企業対策室 山村滋子主査を講師として招聘し、沖縄でのエコタウン事業の推進・展開についての講話を行いました。

また、10月22日から24日にかけて開催された第28回沖縄の産業まつりの「産業官共同技術開発コーナー（武道館）」では、日常生活における3R実践に役立つように、身近な製品を題材とした目で見て手で触って実感できる3R学習（容器包装リサイクル）教材を展示しました。

循環型社会形成のためには、国民、事業者、行政が互いに協力し、リデュース 廃棄物の発生抑制、リユース 製品・部品の再使用、リサイクル 再生資源の利用といった3R（スリーアール）の取り組みを進めていくことが重要です。

注1) 関係8府省は、内閣府、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

